

いじめ問題に取り組むための校内組織

『いじめ防止対策委員会』

委員長＝校長 副委員長＝教頭 主任＝生活指導部長

委員＝教務主任・人権教育担当・特別支援教育コーディネーター・養護教諭・該当学年・生活指導支援員など

被害を受けた子ども・保護者の視点からの、いじめへの対処・救済ルートの確保を優先

学級担任などによる聞き取り

児童・保護者・外部からの情報

(訴え・相談・いじめアンケート・気づきなど)

教職員からの情報

(児童の様子や表情の変化、遅刻欠席状況など)

いじめの疑いの認知

教職員全体への周知
(職員会議・緊急招集)

学年・学級

『いじめ防止対策委員会』の設置 ※組織対応！！

- ① 情報の共有
- ② 今後の対応の方向性を決定
- ③ 役割分担・複数体制
- ④ 調査・実態解明
- ⑤ 被害児童への支援、加害児童への指導
- ⑥ 学級・学年での全体指導
- ⑦ 被害児童・加害児童の保護者への連絡・対応
- ⑧ 支援要請
- ⑨ 啓発・報告・経過観察

(重大事案の場合)

＜関係諸機関との連携＞（必要に応じて速やかに報告）

- ・旭警察署 ← 教頭・生活指導部長
- ・教育委員会 ← 校長・教頭
- ・こども相談センター ← 教頭・生活指導部長
- ・旭区役所 子育て支援室 ← 教頭・生活指導部長
- ・主任児童委員 ← 教頭・生活指導部長
- ・その他関係諸機関 ← 教頭・生活指導部長